

地域の歴史や文化に学ぶ教育活動の推進

～「岩国地域協育ネット」の取組～

【岩国市 岩国中学校区】

地域の概要

岩国地域は、吉川藩の城下町として栄えてきました。地域一帯は、錦帯橋や吉香公園に象徴される風光明媚な観光地であり、落ち着いた雰囲気を醸し出しています。

また、周辺部は地域の伝統を受け継ぎながら、近年ではたかさんの一戸建て住宅やアパートが建ち並び、岩国市中心部のベッドタウンとなっています。

人口	16,655人	
世帯数	7,714世帯	
対象校及び 児童生徒数	岩国中学校	504人
	御庄小学校	149人
	藤河小学校	107人
	柱野小学校	21人
	岩国小学校	797人

組織の内容

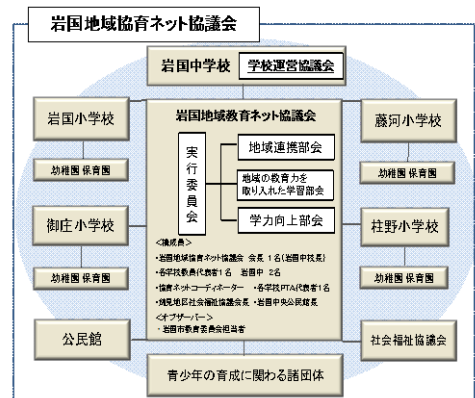
「岩国地域協育ネット」は、昨年度準備委員会を立ち上げ、今年度の本格実施に向けて準備をしてきました。準備委員会では、地域協育ネットを有効で効率的な組織にするために、「地域連携部会」「地域の教育力を取り入れた学習部会」「学力向上部会」の3つの部会を設置しました。年度の終わりには、活動内容について検証し、組織の改編や活動内容の見直しを行いました。

本年度、第1回目の地域協育ネット協議会において、それぞれの適性に合った部会に振り分け、今年度の活動をスタートさせました。

まず、「地域連携部会」は、学校と地域の結びつきを強めるために、地域の奉仕活動を通して、児童生徒、地域の人々が交流することを目標に活動しています。

次に、「地域の教育力を取り入れた学習部会」は、地域で活躍している方を学校にゲスト・ティーチャーとして招き、地域を知る学習をコーディネートすることを活動の中心にしています。

そして、「学力向上部会」では、地域の子どもたちが、学習面や生活面で同じ目標をもって生活することのできる共通目標の設定に取り組んでいます。目標に照らし、子どもたちの変容について検証しながら、子どもたちの健やかな成長を促進することを目的に活動しています。



特色・重点的な取組

「岩国地域協育ネット」は、地域の子どもたちが、自分たちが住んでいるところの歴史に興味をもつことをめざして、地域で岩国の歴史を研究している方々を招へいしています。

岩国地域の歴史授業の後で、複数の生徒が「昔の人が今までこの地域を守ってくれたので、現在の自分たちがいる。これからは自分たちが新しい歴史をつくるのだ。」という感想を寄せており、生徒が自分たちの育った場所に自信と誇りをもつためにより取組であったと思います。

また、歴史以外にも地域の方々に古里の食べ物等の地域の文化や生活様式を教えてください方を紹介していただくために、広くチラシを配布して、協力を呼びかけています。

心とつなぐ 岩国地域協育ネットスタート!
岩国地域協育ネットとは?

★地域協育ネットとは?
幼児期から中学校卒業までの子どもたちの育ちや学びを地域ぐるみで見守り、支援し、学校・家庭・地域が「協」働して、次代を担う子どもたちの生きる力を「育」むというものです。

★岩国地域(岩国中学校区)協育ネットがめざすもの
①学校と地域が岩国地区の子どもたちが生まれてから中学校を卒業するまでの15年間で、子どもたちの夢の実現に向けて支援していきます。
②岩国地区の子どもたちが、地域を知る活動を実施し、自分たちが生まれ育った「古里岩国」を誇れるようになります。

★どんなことをするの?
①学校と地域の結びつきを強めるために、関係機関との連携を図ったり、放課後の児童生徒の安全を図ったりする。
②地域に根ざした学習を行うために、地域の教育力を取り入れた学習の時間を充実させる。
③学力の向上を図るために効果的な学習について対応策を検討する。

どうぞよろしくお願いいたします
今年、協育ネットを充実させるために、地域の子どもたちの学習や課外活動、学校の教育活動などについて広く支援のフィードバックを募集しています。また、地域で子どもたちが参加できる奉仕活動や緑化活動等がありましたら紹介していただきたいです。
地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】 岩国中学校 (43-4400)

主な活動の紹介

【実践例1】柱野小学校 家庭科「布で作ってみよう」

柱野小学校では、学習支援ボランティアとして6名の地域の方に5・6年生家庭科学習の支援に入ってくださいました。

家庭科の「布で作ってみよう」の学習で、5年生はナップサック、6年生はクッションや抱き枕の作り方をアドバイスしていただきながら製作しました。

複式学級で5年生3名、6年生4名の計7名の児童は、ボランティアの方による1対1での温かくきめ細かな支援のおかげで、満足できる作品を作り上げることができました。



作品の完成を記念して！

【実践例2】岩国小学校 「地域とつながる伝統文化教育の推進」

岩国小学校では、豊富な史跡や伝統文化に恵まれた校区の特色を生かし、それを活用した授業実践を通して、地域を誇りに思い、地域の発展に積極的に参画しようとする意欲と実践力を身に付けた児童の育成を図りたいと考えています。

充実した授業をつくるために、地域の方々には大変お世話になっています。鶺鴒については鶺鴒匠さんの話を、岩国の歴史や史跡については徴古館や吉川史料館の学芸員さんの話をというように、関係の方々に直接授業にかかわっていただくようにしています。



ボランティアガイドの練習風景

成果と課題

〔成果〕

昨年までは、郷土学習等に各学校で取り組んでおり、学校間のつながりがなく、どのような内容をどの程度学習していたかの把握が難しかったのですが、岩国地域協育ネットの発足により、各学校が「どのような内容をどの学年で学習したか」を把握できるようになりました。

〔課題〕

比較的規模の小さな学校であれば、活動がスムーズに行われますが、200名近くの児童生徒を同時に活動させるためには入念な準備が必要となるので、大きな労力と時間がかかることが課題となっています。

今後の取組

地域協育ネットの委員から、「最近地域の生徒の顔が見えない」という意見がありました。そこで、地域の皆さんをゲスト・ティーチャーとして招へいするだけでなく、子どもたちが生活している地域に恩返しをするという目的で、中学生が母校に帰って小学生と一緒に地域を清掃する活動を始めましたが、まだ十分ではありません。今後、子どもたちが目的意識を高くもった活動にしたいと考えています。

また、岩国中学校には4つの小学校から進学するため、地域協育ネットの学力向上部会で「守りたい共通の約束」を作成し、中学校で戸惑いなく日常生活を送ることができるようにすることを目標に取り組んでいるところです。